

**平成29年度 中学校社会科副読本 「石巻市の歴史」**  
**指導事例 歴史的分野 「第二次世界大戦と日本」**

1 指導対象学年 3学年

2 年間指導計画での位置付け

(1) 単元名 「第二次世界大戦と日本」

(2) 単元目標

第二次世界大戦や太平洋戦争の概要について理解し、戦争が人々の生活に与えた影響について考えることができる。

3 指導に当たって

単元の学習にあたって、石巻市の歴史の調べ学習を行い、国が始めた戦争の影響が自分たちの住んでいる地域にも及んでいることに気付かせたい。歴史への興味・関心を高めさせるとともに、通史への理解もより深まると考えられる。

4 教科書 p226「戦時下の人々」

5 副読本 p93～97

6 単元の学習・評価について(5時間扱い)

配時	学習内容	評価
1	第二次世界大戦 配当時間 1	【知】第二次世界大戦が起こった背景と経緯について理解できたか。
2	太平洋戦争の開始 配当時間 1	【知】太平洋戦争が起こった背景と経緯について理解できたか。
3 本時	戦時下の人々 配当時間 2	【技】太平洋戦争が人々の生活にどのような影響を与えたのか、資料から調べ、分かりやすく発表することができたか。
4	戦争の終結 配当時間 1	【知】沖縄戦の特徴や原爆投下、終戦までの経緯を理解できたか。

7 本時の学習

(1) 題材名 「戦時下の人々」

(2) 本時の目標

戦争中が石巻市民の生活にどのような影響を与えたのか資料から調べ、分かりやすくまとめる。

【資料活用の技能】

(3) 本時の指導にあたって

国内の人々の生活と占領地や植民地の人々の生活に分けて、調べ学習を行う。調べ学習の際、『石巻市の歴史』を資料として活用する。石巻市の歴史には、「飯野川地区の出征壮行式」や「渡波小学校の運動会」、「荻浜や牡鹿地区の特攻基地跡」、「石巻地区に残る青い目の人形」など、当時の石巻の人々の生活に関わる資料が掲載されている。調べ学習を行いながら、歴史への興味・関心を高めさせたい。

(4) 学習過程

段階	学習活動・学習内容	教師の支援
導入 10分	1. これまでの学習内容を振り返る。 2. 本時の学習課題を確認する。	・映像資料を用いて、テンポ良く進める。
	戦争が人々の生活に与えた影響について、	
展開 30分	3. 「占領地や植民地の人々の生活」と「国民の生活」について、資料集や石巻市の歴史を使って調べる。 4. 調べたことをグループ内で発表する。 5. 全体への発表の仕方を考える。	・机間指導を行い、資料を見る視点について助言する。 ・グループ内で調べる項目を分け、ジグソー学習を行う。  ・メモをとりながら発表を聞くよう指示する。  ・単に調べたことを口頭で発表させるのではなく、発表の仕方を例で示し、グループで工夫させる。(ポスターセッションなど)
終結 10分	6. グループで全体に発表する。	・グループ内で出なかった事例について、メモを取りながら発表を聞くよう指示する。 ・各グループの発表に対して、生徒同士で相互評価を行わせ、資料活用の力を高めさせたい。

(5) 評価

戦争中が石巻市民の生活にどのような影響を与えたのか資料から調べ、分かりやすくまとめることができる。

【資料活用の技能】